

菖蒲春高会は創立 15 周年を迎えました！

菖蒲春高会会報

第 8 号

(15 周年記念号)
平成 25 年 2 月発行

発行責任者
平澤 憲



平成二十四年十月二十一日(日)、菖蒲春高会総会が割烹大浜にて開催されました。菖蒲春高会は平成九年三月に設立され、今年で丸十五年が経過し、十六年目に突入しました。
当日は、特別な企画はありませんでしたが、例年通りの総会が開催され、役員の改選が行われました。来賓を含め十一名の参加のもと、最後は恒例の校歌の大合唱で締め、大いに盛り上がりました。

平成 24 年度総会の概要

○開催日 平成 24 年 10 月 21 日(日)

○会場 大浜

○参加者 12 名(内来賓 1 名)

○総会承認事項

① 平成 23 年度事業報告

② 平成 23 年度決算報告

③ 役員の改選について

④ 平成 24 年度事業計画(案)について

⑤ 平成 24 年度予算(案)について
すべての議案が承認されました。

役員については、全員再任されました。また、二年間がんばりますので、よろしく願います。

☆ 役員 一覧 ☆

◇会長 平澤 憲

◇副会長 平澤 卓・堀部和政・岡安正一・中山登司男

◇監事 小山典弘・平澤榮蔵

◇幹事 蓮見秀夫

◇事務局・会計 斎藤武雄・黒川哲也

宮代春高会美術展に参加!

平成 24 年 11 月 16 日から 22 日にかけて宮代町立図書館において開催された宮代春高会第 10 回記念美術展に、平澤会長と岡安副会長が参加されました。



『十五周年に思う』

母校創立百周年を契機に菖蒲支部も発足し、早くも十五周年を迎える事が出来ました。これも一重に同窓の皆様のご協力と本部事務局のご指導とご支援の賜物と感謝申し上げます。

ご案内の通り菖蒲支部は少人数、小規模な組織でありますが、少なからず母校同窓会の活動に協力する事が支部の役目であり、伝統校の更なる発展の力にもなると思いません。

質実剛健、文武両道の精神は卒業生の心に引き継がれています。現在、三代目校舎では伝統ある進学校としての実績が高められています。しかし、制度の変化等により様々な分野での改善もみられません。当時、永年春高のみで教鞭をとられた先生方の印象が強く残ります。

菖蒲支部の活動は小規模で

菖蒲春高会会長 平澤 憲

些細なものですが、母校に誇りを持って、年に一度の総会懇親会が盛大に行われ、特に全員の近況発表、応援団出身の二人による指導の下での校歌斉唱は特色といえます。震災によって、助け合い、絆のことが盛んに言われています。その心が確かに根付く事を願っています。

菖蒲出身の同窓生の皆様の益々のご活躍とご発展をお祈り致します。

『私も還暦になりました』

中山 登司男
(昭和46年卒)

私は、昭和二十七年生まれなので、今年満六十歳になりました。春高を卒業してから、四十年以上。今の実感は、「私もとうとう六十歳になってしまった」です。

り、若い職員たちとともに事務所におります。と言つても、元のように建築や測量を自分ですることはほとんどなく、職員に任せております。

一方、仕事以外で、かねてより思い描いていたことは、着々と実行しています。(欲張って、いろいろなことをやり過ぎているような感じもしています。) 何か打ち込むということ、それだけで充実した気分になれますから有意義です。

最近、私が七十、八十歳位の先輩に、「私も、還暦になってしまいました」と言うのと、うらやましいね。」と言われまます。私が、四十、五十歳の後輩を見ると「若くていいな」とちよつと思えます。やはり年齢なんて、主観的なものかもしれません。あまり気にしないでいこうと思つています。



『菖蒲春高会十五周年を

迎えて』

新井 和行
(第55回卒)

この度菖蒲春高会が、創立十五周年を迎えるとのことで誠にめでとございます。これも会長をはじめとする役員のみなさまのご尽力によるものと思います。私も春高を卒業して、はや十年が経とうとしております。諸先輩方から比べますとまだまだひよっこですが、改めて振り返りますところや、改めて振り返りますところや、卒業後も同じ春日部高校を卒業した一人として先輩方と交流を持つ機会があることは本当に素晴らしいことであり、春高のもつ人脈の強さであると思えます。

私の高校時代のお話をさせていただきます。菖蒲中から同期は三名が春高へ入学しました。私はここで人生の転機ともいえる応援指導部という部活に出会いました。実は、同期の中山くんが一緒に入部しましたが、途中で退部し最後

まで一緒にできませんでしたが、彼がいたことで入部に踏み切れたと思っと思っています。もう一人の同期である高嶋くんはサッカー部で部長まで務め春高で活躍した一人です。高校時代は部活ばかりしていて友人と遊んだ記憶もあまりありませんが、血や汗まみれで苦しかった当時の記憶も今ではよい思い出であり、やるべきはとことんやる春高生のよき仲間になれ、非常に濃密な高校時代を過ごせたと思っっています。現役時代から春高生の活躍を応援し、共に肩を組んで校歌を幾度となく歌ってきました。卒業した現在でも夏の野球応援をはじめ、文化祭の臍脂の集いや諸行事に行くとき春高生やOBが集まるところには母校を大切に、仲間を大切にすることを春高生の姿があり、伝統を脈々と受け継いでいるのだと感じます。

内容がまとまりませんが、最後に好きな校歌の三番の歌詞を記します。

時世をつくる英雄の
姿は之に似たらずや
忍耐剛毅わがつるぎ
誠実質素われがたて

今後の春高ならびに菖蒲春高会のみますの発展を祈念しております。

【菖蒲春高会事務局】

担当：斎藤武雄

〒346-0105

埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2579-2

TEL (FAX) : 0480-85-7778

E-mail : nyanko19570705@yahoo.co.jp

※ご意見、情報等があれば気軽に事務局までご一報ください。お待ちしております。



☆編集後記に代えて：

菖蒲春高会の事務局を担当させていただき、早八年が経過し、年齢もいつの間にか五十代半ばを過ぎて、還暦の足音をひしひしと感じる今日この頃である。▼そろそろ、第二の人生設計を考えなければならぬ年齢である。人生約八十年とすれば、さて、残り二十数年で何ができるだろうか。肩肘張らずにできることとすれば、在職中はなかなかできない「旅」くらいであろうか。海外旅行もいいが、考えてみると日本の中でも、まだ、足を踏み入れていない場所がいかに多いことか。全四十七都道府県を全て周って、日本再発見の旅でもしたいものである。▼ローカル線を使つてのんびりと、北は北海道から南は沖縄まで何年かかるかわからないが達成してみたいと思っっている。事前に歴史や風土及び地域の名産物などを学習しておいて、実際に訪れた時のギャップなどを感じてみたいと思っっている。その過程で、出会う人々や出来事などを絵や写真やつたない雑文にでも残してみたいと思っとうと、少しわくわくしてならない。▼さて、菖蒲春高会もついこの間十周年を迎えたばかりと思っっていたが、いつの間にか十五周年を迎えた。何か記念として特別なことを実施したいと考えたが、何かをやるうとするとその時間も労力も少ないことに気付く。ささやかながら、一年に一回ではあるが、集まれる人が親交を深めるだけでもいいのではないかと思っっている。幸い、同窓会が発足以来十五年間も続けることが出来たのは、この肩肘張らない「気軽さ」なのかもしれない。今後、このままずっと続けていきたいと思っっている。

(T・S)

菖蒲春高会15周年を記念して、
次頁以降に、これまで発行した全会報
の写しを掲載します。